

# 日野総合事務所だより



「籠山公園」(日南町下石見)  
ツツジの名所として知られるこの公園ですが、  
一步踏み入れれば様々な趣が楽しめます。

## Contents

ルネッサンス .....	2
県民局 .....	3~4
福祉保健局 .....	5
農林局 .....	6~7
県土整備局 .....	8
西部教育局日野郡地域教育担当 .....	9
日野高校 .....	10~11
郡民会議 .....	12~13
お知らせ .....	14~16



# 地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 (第22回)

昨年度よりスタートした鳥取の「ええもん」制度は、県内の優れた「人」「もの」「食」「文化」を県が認定し、県が行う様々な調達行為において積極的に活用する制度です。

昨年度認定された日野郡の「ええもん」は6件でしたが、今回は今年度新たに認定された3件を紹介します。

## 鳥取の「ええもん」第2弾!! 地域資源の再発見

### 「食」

#### 「日野そば」(半生そば)

日野町下榎 坂本心美

そば粉は地元日野町産のみを使用するとともに、製麺では江府町の天然水「奥大山の水」を用いています。



### 「食」

#### 「豆腐・蒟蒻・味噌」

日野町上菅 菅福元気邑

豆腐は無添加、蒟蒻は生芋使用で無添加。味噌は天然醸造・じっくり熟成、粗挽き・減塩仕様となっております。



### 「人」

#### 「挟間延義さん」

日南町霞 レストラン創造の森

地元日南町の食材を活用した独特の料理を創造され、また、食を通して県内外の人々へ日南町の魅力を伝えるよう活動されています。



#### 問い合わせ先

県民局 県民課  
電話 0859-72-2086  
担当 足立 啓作

日野郡の歴史セミナー  
 〽黒坂城(鏡山城)〽  
 四百年前、城とともに誕生した黒坂。湿地帯は藩都になった。  
 そして今、城跡は蘇る。

【二つあった黒坂城】

伯耆誌によると鏡山城と呼ばれた黒坂城は黒坂駅裏の旧日野産高の敷地と裏手の小山にあったとされている。荒れ果ててはいるが石垣も残っている。鏡山城は、天正年間(1573年~1591年)まで、日野郡の豪族日野義行の居城として、後の慶長15年(1610年)、関一政が5万石を与えられ入城したとされている。

しかし、日野郡史によると黒坂城は二つあり、一つは日野氏の居城「黒坂の要害山」として、もう一つは「鏡山城」として記述されている。(要害山は「因幡二十士事件」で知られる泉龍寺の北側にある標高360m余りの山である。)

【黒坂城(鏡山城)の築城】

慶長14年(1609年)、中村一忠が死去し、中村氏が改易されると伯耆国には諸大名が分散され

て配置されることになる。そうした中、翌年、伊勢亀山から関一政が入り、黒坂藩5万石が立藩されることになった。築城場所は生山村、霞村、石見村などが検分されたが、より広い黒坂が選ばれた。当時の黒坂は湿地帯の何も無いところであった。つまり今の黒坂の町は400年前、政治的に造られたのである。慶長17年に築城が開



当時の配地図

始され同19年に完成したとされている。それとともに城下も整備される。今でも街中を縦断する道路1キロが残っているが、驚いたことに、その方位を測定すると寸分違わず南北一直線を示す。いかに計画的に造られた町であるかを物語る。そしてこれから黒坂が政治の町としてスタートするのだが、残念なことに関家は家中内紛のため改易され、黒坂藩は僅か8年で廃止されることとなる。

【黒坂陣屋】

関家改易後、鏡山城は池田光政領となり、池田家臣池田長政が入り、元和元年(1615年)の一国一城令によつて廃城とし、以後陣屋として使用した。寛政九年(1632年)、長政は光政に従い備前岡山に去り、光仲の家臣福田久重が寛文元年(1661年)に陣屋に入り、福田氏が明治2年(1869年)まで自分手政治によつて黒坂陣屋と日野郡内一九ヶ村、岩井郡2ヶ村(現在の岩美町及び鳥取市福部村)を支配した。

なお、幕末の京都本圀寺事件(因幡二十士事件)の関係者を泉龍寺に幽閉したのも鳥取から遠方に黒

坂陣屋があったためと考えられている。

【現在の黒坂城】



荒れ果てたる黒坂城跡

ボランティアの皆様のおかげで、石垣の一部が見えるようになりました。復元作業をお手伝いいただける方を募集しています。

連絡先

日野町ボランティアセンター  
 電話(0859)74-0117

監督 牧 智也

(日野町歴史研修会会長)

問い合わせ先

県民局 県民課  
 電話0859-72-2083  
 担当 別所 秀典

# シリーズ

## 日野郡の 元気な会社 (第10回)



組立ドアキットと瀬田専務

瀬田拓也氏は県内でも数少ない一級木製建具製作技能士の資格を持ち、また平成17年度に伝統的な木造建築に関する技術を持つ伝統技能継承者（建具部門）に選定されるなど、確かな技術を身に付けておられます。

今回は、新商品の開発や新たな事業活動を積極的に行っている日野町の「有限会社ウッドマン」瀬田拓也専務にお話を伺いました。

(有)ウッドマンはオーダー木製建具の専門店、障子、ふすま、ドア等の建具全般の製作を行っているほか什器の製作や家のリフォーム等を主として営業されています。

### ☆「新商品の開発」

「建具業界にもこれまでにない競合激化が生じており、受注件数の減少、施工単価の低下など収益低迷を余儀なくされています。」

また、鳥取西部地震の際、日野町を中心に復旧に当たった受注が多くありましたが、逆に10年分の修理等の需要を一度に受けた形となり、その後の依頼がなくなりました。

**新たな活路を見出せないかと**

【個性ある住まい作りをサポートし提案型営業体制を構築する】ことを目的とした経営革新計画を昨年9月に計画し承認されました。当社が独自開発したこれまでに類をみない組立ドアキットをDIYユーザー（日曜大工を趣味としている方）等に対しホームページを通じて販売したり、東京で開催される見本市等に積極的に参加していきたいと思っております。」

### ☆「地元への思い」

「金持神社に來られる方より神棚に奉る（やしろ）がないかとのお問い合わせがありました。少しでも地元のお役に立てればとの思いから、金持神社のレプリカの製作を思いつきました。全て手作りですので、大量生産とは行きませんが、日野町産の杉を使い製作しております。地元のPRになればよいですね。」



金持神社のレプリカ  
(W25cm×D10cm×H23cm)

### ※中小企業経営革新等補助金 受付中

鳥取県では、新技術・新商品の開発のための基礎的研究、大学等との共同研究、リサイクル製品実用化研究、海外チャレンジ支援等を計画しているやる気のある企業を支援する目的に各種補助金制度を設けており、平成19年度の募集を4月27日まで受付しております。

問い合わせ先

担当 永見 将  
県民局 県民課  
電話 0859-72-2085

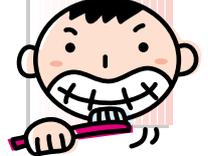
### 企業データ

有限会社ウッドマン

代表者 瀬田 剛  
所在地 日野町安原16  
電話 0859-72-1314  
F A X 0859-72-1602  
e-mail door@woodman.cc  
http://www.woodman.cc

# 歯周病を防ごう！

「かかりつけ歯科医」を持っていますか？



## ★歯周病とはどんな病気？

歯周病は、生活習慣がその症状を大きく左右することから、生活習慣病のひとつとされています。歯周病の怖いところは、自覚症状のないまま進行していくところです。むし歯なら進行の過程で「痛み」が起り、歯科医院を受診しますが、歯周病の場合は、痛みもなく、生活に不自由もないので、そのまま見過ごしてしまうことが多いのです。歯ぐきから膿がでる、歯がグラグラする等、はっきりした自覚症状が出来るころにはかなり悪化していることが多いのです。

## ★歯周病とはどんな病気？

- 1 歯と歯ぐきの境目に歯垢や歯石がたまることから始まります。この歯垢の中にいる細菌が毒素をつくり、歯ぐきに炎症を起こします。(歯肉炎)  

- 2 歯ぐきが赤く腫れ、歯と歯ぐきの間に「歯周ポケット」と呼ばれる溝が出来、ますます歯垢がたまりやすくなります。  

- 3 歯ぐきが化膿し、血や膿が出るようになり、口臭がし、歯がグラグラするようになります。(歯周炎)  

- 4 歯槽骨がどんどん溶けて、歯が抜ける。  


問い合わせ先  
 福祉保健局 保健衛生課  
 電話 0859-72-2037  
 担当 岡田 桂子

## 歯周病危険度チェック

- 40歳以上である
- 毎食後、歯を磨かない
- 歯並びが良くない
- 口で息をする癖がある
- 歯を磨くと、歯ぐきが血が出る
- 歯ぎしりが激しい
- 冷たい物が歯にしみる
- 糖尿病にかかっている
- 歯ぐきが黒ずんでいる
- 歯と歯の間に食べ物をはさまる

あなたのYESはいくつ？

判定	10～9	歯周病へまっしぐら。ただちに歯科医院へ
	8～5	このままでは、歯周病は時間の問題。一度受診を!!
	4～3	歯周病への岐路。症状だけでは歯科医へ相談を。
	2～1	油断をせずに症状を見守ってください。
	0	この習慣を守ってください。油断は禁物。

## ★いつもの歯磨きを見直そう！

ただなんとなく歯ブラシを使って「磨いたつもり」になってしまつのは危険なことです。むし歯や歯周病の原因となる歯垢をおとす正しい歯磨きの仕方をしていますか？しっかりマスターして、すみずみまで丁寧に磨きましょう！

## 「かかりつけの歯科医」を探そう！

「かかりつけ歯科医」は、生涯にわたり、歯と口の中の健康を保つていくためにとても大きな役割を果たしています。自分の状態をよく知ってくれる親しいかかりつけの歯科医を見つけ、歯と口の健康づくりにとめることが大切です。歯が痛くなったら行く「かけつけ歯科医」では、歯と口の健康を保つことは出来ません。「かかりつけ歯科医」で、定期的に歯科健診・お口のお掃除、フッ化物塗布等を受けるようにしましょう。

(6か月毎に「かかりつけ歯科医」を受診することをお勧めします。)

日野郡の人シリーズ⑥

繁殖和牛の担い手として  
鳥取全共を目指す！



日南町上萩山  
山形美智也さん（49歳）

今回は、親子二代に渡り繁殖和牛と水稲の複合経営を営まれている日南町上萩山の山形美智也さんを紹介します。

山形さんは昭和51年日野産業高校を卒業後、自動車学校の教官などをされ、昭和62年、父猶方さんの後継者として就農されました。就農当時は繁殖和牛12頭、水稲80aの経営でしたが、徐々に規模拡大され、現在は繁殖和牛28頭、水稲315aとなっています。経営の特徴として裏山を活用した林間放牧や、米の直売などに取

り組んでおられます。牛の管理は徹底されており、繁殖和牛経営の指標となる分娩間隔は約12ヶ月と大変優秀です。

経営概要

- ◎水 稲 315a
- ◎自給飼料 120a  
（トウモロコシ110a  
イタリアンライグラス10a）
- ◎繁殖和牛 28頭
- ◎子 牛 18頭

山形さんには経営や今年10月に米子市を中心に開催される全国和牛能力共進会のことなどについてお聞きしました。

◎経営について日頃気を付けていることは何ですか。

●一番気を付けていることは、牛を観察することです。下痢など調子の悪い牛を発見したら、すぐに治療を行います。

次に経費を抑えることです。放牧を行う、あぜ草や稲ワラを給与する、牛の寝床に敷くオガクズはなるべく無料のものを使用する、などです。

◎和牛を飼育していてよかったことは？

●一つは平成14年に岐阜県で開催された全国共進会に4区（繁殖雌牛群）の鳥取県代表として「ゆうこ」号を出品したことです。

もう一つは我が家で生産した雄牛が昨年、（社）家畜改良事業団の種雄牛となり、11月に表彰を受けたことです。牛名は「花平茂」です。

◎現在、10月に米子市で開催される全国共進会の候補牛を飼育されていますが、どんな管理をされていますか。

●適度な栄養状態となるよう、適切な飼料給与に心がけています。また晴れた日は道路を歩かせたり、姿勢良く立っていられるような調教を行っています。



放牧の様子



種雄牛となった「花平茂」号

◎全国共進会への意気込みは？

●前回の岐阜全共では、入賞できなかったのですが、もし代表になったら上位入賞をねらいます。

◎今、期待していることは？

●現在、長男が鳥取県立農業大学の1年生であり、農業をやりたいと言っています。後継者となり一緒に農業が出来ることを楽しみにしています。

これからも、日野郡の農業のけん引役としてのご活躍を期待しています。

問い合わせ先  
農林局 農業改良普及所  
電話0859-72-2028  
担当 池岡 進

うまい!

# 日野郡のお米



日野郡のお米は、日野川源流のきれいな水で育まれ、平野部に比べて登熟期の昼夜の温度差が大きいことから良く充実し、県内では「うまい米」として評価されていますが、県外での認知度は今ひとつで、なかなか有利販売に結びついていませんでした。ところが、最近、ここ数年の取り組みが実り、ブランド化に向けて成果を上げつつあります。

ここでは、これまでの取り組みと併せて紹介します。

## 人気の

### 「奥日野こしひかり」(特別栽培米)

現在、日野地区(旧溝口町も含む)では日野特別栽培米研究会(会員101名)を立ち上げて、約67haの面積で鳥取県の特別栽培農産物の認証を受けたコシヒカリが栽培されています。

これらのお米は「奥日野こしひかり」と命名され鳥取西部農協が直接販売しています。

その「奥日野こしひかり」は毎月1回(4日間)鳥取フェアが開催される関西の量販店「千里大丸プラザ・ピーコック千里中央店」で、昨年七月からお米の販売数がトツプとなり、当店から「10年に一度のヒット商品」と大絶賛されています。

消費者は、一般的に米や味噌などは食べ慣れたものを好み、商品を変えることが少ないとのことですが、「奥日野こしひかり」の販売量は、販売を始めた平成17年11月に比べ、現在は倍の量が販売されています。

当店長は、この要因として

- 1 特別栽培米で、安全安心のイメージ
- 2 とにかく、美味しい
- 3 米の見た目がきれいで、質が良い
- 4 鳥取の自然にあふれたイメージが良い
- 5 販売担当者等が熱心に販売努力を行った

「奥日野こしひかり」は昨年7月から、千里中央店だけでなく大丸ピーコックの関西地方の各店舗で

販売されるようになり、日野産米の販売の拡大とともに、ブランド化が進んでいます。

それに伴い、日野特別栽培研究会の特別栽培米の作付面積も年々拡大をきており、平成19年産は100haを目標に作付を推進しています。

## 特別栽培農産物とは

通常栽培と比べて、農薬と化学肥料を5割以下で栽培した農産物のことです。

## うまい米づくり対策

### ○試験ほ場での研究活動

現在、日野地区各町に肥料のやり方と食味の関連を探るための試験ほ場を設けて、農業改良普及所、農業試験場、農協が協力して日野地区の田んぼで作った米が「うまい米」となる栽培方法を開発するため、研究を行っています。

### ○日野川源流

#### 米コンテストについて

平成18年度で4回目を迎え、出品

数も120点を超えています。本年は3種類の食味計で食味値を計測しましたが、各食味計の食味値の平均値とも良食味米の基準である80点を上回っており、日野郡のお米は「うまい」ことを証明しました。

しかし、一部の出品者の中には、水分が低い米や、ヒビの入った胴割米のために、せっかくの「うまい米」の評価を落としているものがありました。

日野地区全体のお米の評価を上げるためにも栽培だけでなく、最後の乾燥・調整についても気を配って、おいしいお米を作っていただいたいと思います。

### ○終わりに

今年2月に発表された全国レベルの「米の食味ランキング」では、残念ながら鳥取県産「コシヒカリ」は、最高ランクの「特A」に届きませんでした。今後はさらに、県、農協、農家の方々と共に、日野地区としておいしい、高品質のお米作りの取り組みを行い、最高ランクの「特A」評価が受けられる産地になり、日野産米の全国的なブランド化を目指していきたいところです。

#### 問い合わせ先

農林局 農業振興課  
電話 0859-72-2007  
担当 松原 秀樹

# 7月豪雨災害の復旧状況は今！

昨年7月の梅雨前線豪雨により日野郡内の土木施設関係で約35億円の大きな被害が発生し、10月の災害査定が終了後、復旧工事を進めています。



被災直後の状況



復旧した国道180号日野町福長地区

道路関係では、30箇所全ての箇所を着工しており、特に幹線道路については、早期復旧を図るため努力しています。

問い合わせ先  
 県土整備局 道路整備課  
 電話 0859-72-2062  
 担当 白根 貴之



日野町金持地内の被災箇所

また、土石流が発生した日野町金持や日南町矢戸をはじめ13カ所で災害関連緊急砂防事業、災害関連緊急治山事業が採択され、これらの箇所の災害対策工事については3月末から着手する予定です。河川・砂防災害については、緊急を要する箇所から復旧することとし、被災箇所84箇所のうち、75%で着手しています。今後ともみなさまの御協力を得ながら早期復旧に努めてまいります。

問い合わせ先  
 県土整備局 河川砂防課  
 電話 0859-72-2063  
 担当 仲谷 律子



日南町霞地内の被災箇所

心とからだ いきいき キャンペーン



大切です！  
生活リズムや家庭・社会のマナー！

子どもの家庭生活に関するアンケート結果から

# 朝は「自分で起きる」習慣を

(平成18年・平成17年 いずれも11月実施)

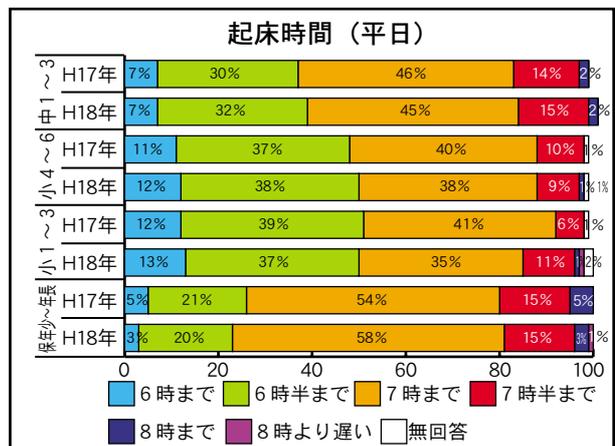
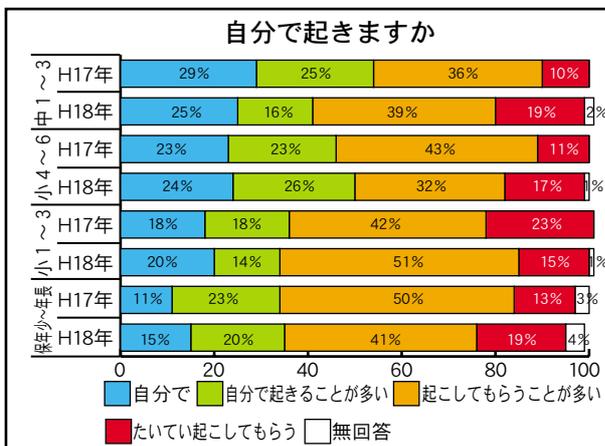
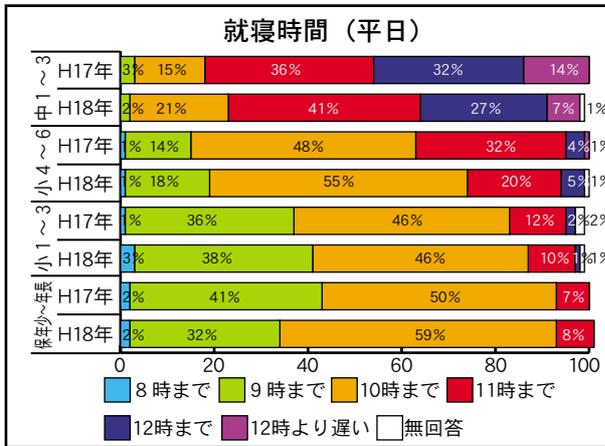
昨年11月に実施した日野郡保・小・中アンケート調査の結果の中から、今回は就寝・起床について取り上げてみました。

下のグラフのように、就寝・起床時刻は、小・中では前年に比べほぼ同じかやや早くなっています。保ではいずれも少し遅くなっています。保護者の生活時間の影響がその原因の一つだと思います。生活時間を「保護者に合わせるのか」、「子どもに合わせるのか」によって、子どもの基本的な生活習慣は大きく左右されます。夜更かし・長時間のテレビ等の視聴・食事を挙げればきりがありませんが、子どもの生活リズムの定着のためには、保護者が少し我慢をして子どもに合わせる事が大切なのではないでしょうか。

乳・幼児期の生活習慣がその後の小・中学校へと引き継がれていきます。「朝、自分で起きる」こともその一つで、成長してからリズムを変えるのはなかなか難しく、だんだん親の意見を聞き入れなくなる思春期になっても、グラフのように「起こしてもらわなければ起きられない」、「目律ができて

いない」子どもが増えています。また、「自分で起きる」ことが、その後の「朝食をしっかり食べる」ことにつながると思います。

春3〜4月の卒業や入・進学を機会に、生活リズムをもう一度見直し、心身共に健康なスタートを切りましょう。



問い合わせ先 西部教育局 日野郡地域教育担当 清水 和祥 電話0859-72-2075

# 日野高校



## 飛翔

### インタビューを終えて

スキー部顧問 坪倉寿樹  
 本年度は富山県南砺市でインターハイが開催されました。ここは世界遺産にも指定されている5箇山村合掌造り集落がとも有名です。  
 本校からはアルペン男子1名、クロスカントリー男子3名、女子3名がレースに臨みました。まず開会式では複合オリンピック金メダリストでもある荻原健司さんに激励していただき「インターハイでは思うような結果は出せなかったが、努力を重ね世界の強豪選手と肩を並べるまでに自分を鍛えた。それは自分一人だけの力ではない・・・」など選手の心に響くお話をされました。最後のアトラクションでは、全国高

総文祭の常連校でもあり、本年度最優秀校の平高校の民謡が披露されました。これも実に素晴らしい感動しました。以前にも拝見したことはありましたが、さらに洗練され選手・監督・役員すべてが魅了されました。

さてレースですが、アルペン、クロスカントリー両会場共に雪不足で、地元のみなさんに雪出しをしていただいたおかげで大会直前の練習をすることができました。みなさんの熱意が天に通じたのか、大会前日から大雪となり最高のコンディションとなりました。しかしめまぐるしく変化する雪質にクロスカントリーのクラシカル種目では、グリップフックスの選択に非常に悩みました。選手も私も悩み、情報収集やテストを重ねスタートラインに送り出しました。選手はみな、自分の持つ力を一杯出し切ったと感じています。

今年の日野高校スキー部はチーム力(りょく)を向上させようと春から取り組んできました。秋の駅伝に向けた練習でそれがさらに加速し、とてもいいカタチでシーズンを迎え、この檜舞台に立つことができたのは、選手個々の力だけではなく、保護者・OB・OG・地域のみなさん、先生、仲間達の支えがあったからこそだと思います。



根性をみせたクロスカントリー

す。振り返るとたくさんの方々の支えと選手達のやる気がとても感じられるよいチームでした。顧問として心からこのチームに感謝します。  
 3年生はもうすぐチームから離れますが、スキーで培った力を自分の進路に繋げ、常に感謝の気持ちを忘れずにどんなことにも一生懸命に取り組んで欲しいものです。1・2年生は、3年生の思いを受け継ぎ、さらに強いチームになるよう頑張っていきましょう。

スキー部顧問(アルペン) 廣田省治  
 アルペン競技には男子1名が出場しました。さすがに全国大会というところで、かなり難しいコースセットに多くの選手が苦しめられたようでした。大会2日目、男子大回転では、我校の選手も1本目は完走したものの、2本目、斜面が変化する所でコースアウトとな



今後につながる貴重な経験

り、残念ながら途中棄権という結果となりました。しかし大会四日目の男子回転では、途中棄権選手が続出する中、見事、2本をていねいに滑りきり、73位という結果を残しました。彼にとって、今回の全国での挑戦は今後につながるよい勉強になったものと思います。

### 「産業社会と人間」学習発表会を終えて

日野高校総合学習部主任 狩野 修  
 2月15日(木)に日野町文化ホールに於いて、第6回「産業社会と人間」学習発表会を開催しました。日野高校は平成12年4月に総合学科の高校として発足しましたが、その特徴となる教科が「産業社会と人間」です。

まず1年生では自分探しの旅と銘打って、様々な体験や発表を通して、自分を見つめ、自己の進路や生き方をより深く考え、自己実現を図る力を育てることを目標としています。内容は教科調べ、農業科目体験、田植え体験、事業所・学校見学、夏休み課題研究、稲刈り体験、社会人講演会、収穫感謝祭、ライブプランの作成などで、先日の学習発表会での成果を発表しました。

次に2年生においては3日間の職場実習を含む職場体験学習と、日野町のまちをテーマとしたグループ研究をしました。職場体験では県西部の59事業所に協力していただき、109名が実習をしました。  
 3年生においては課題研究を一年間かけて取り組みました。自分の興味関心のあるテーマを一つ決め、それについて書籍やインターネットを利用して調べたり、実際に現場に行ったりインタビューをしたり、体験したり、作品制作や実験をしたりと様々な取り組みをしました。また、生徒一人一人にはアドバイザーとして職員がつき、より深みのある研究になるようにアドバイスをしています。  
 以上の取り組みの成果を発表する機会が今回の学習発表会でした。



学習発表会「産業社会と人間」

発表する生徒たちは緊張しながらも堂々と発表し、大勢の前で自分の思いを発表する貴重な体験をすることができました。  
 来年度もこの時期に学習発表会をしますので、ご都合のつく方はぜひお越しください。

### 日野高校との3年間

卒業生保護者 松岡 託司  
 娘は、今年の3月で日野高校を卒業します。この3年間心配したこと、悩んだこと、悲しいこと、嬉しいことなど、様々なことがありましたが、記憶に残っていることは、嬉しいことばかりです。特に、合唱部に入部した年、合唱コンクールで鳥取県大会で金賞、代表として中国大会に参加して銀賞



定期演奏会で日頃の成果を披露

を頂いたこと。小学校の頃から続けてきたことと、優秀な先輩たちにめぐり合ったこと、先生方の素晴らしい指導のお陰と感謝しています。どんなことでも良いから、続けていければ、立派な成果が出ることを娘が教えてくれたこと、発表会に行くのが楽しくて学校に行く機会が増えたことで、先生方や保護者の方と知り合いになれたことも嬉しいことでした。  
 日野高校と向き合ってきた3年間、一番感じたことは、地域との関わりが強い高校だということだと思います。お世話になった先生方は勿論のこと地域の方々への思いやりに感謝します。

日野高等学校3年担任 稲田 真司  
 アテネでオリンピックが華々しく開催され、「チヨウ気持ちいいー」、「気合いだー!」などの流行語が生まれた年に入学してきた県立日野高等学校第5期入学の生徒たちが、3年間の高校生活を終え巣立つ季節となりました。入学してからはしばらくはなかなかまとまらない学年でしたが、1年を終える頃から落ち着きを見せ、笑顔がたくさん見られる学年になりました。「俺の1日は今から始まる!」と、放課後の部活に励んだ者、絶対に保育士になるとピアノの練習を頑張り、受験で夢をつないだ生徒、小学校教諭を目指し公立大学に合格した生徒、また、県外や県内で生きがいを持って働きたいと面接や作文の練習に励んだ生徒、それぞれが夢を持ち卒業していきます。その生徒一人ひとりに「卒業おめでとう」と祝福の気持ちを表すと同時にこれからの更なる成長を心から願いたいと思います。皆様方にも3年間温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。

新年度に向けて頑張ろう!!



# 郡民会議からの **お知らせ**

平成19年度鳥取県当初予算において、鳥取県日野郡民行政参画推進会議（郡民会議）の意見を取り入れた事業を紹介します。

これらは、第2期委員の第5回会議（平成17年12月開催）から第3期委員の第2回会議（平成18年10月開催）までの会議において委員から出された意見について、その意見を反映したり、意見の趣旨を踏まえながら事業の運営にあたらうというものです。

新規事業1件、拡充事業2件を含めた継続事業14件となりました。特に新規に掲げている「日野地域自然公園等振興活動推進費」は、郡民会議での意見をきっかけに日野総合事務所県民局県民課の中に新設することになった「自然活用係」に関するものです。

## 《平成19年度当初予算において郡民会議の意見を取り入れた事業一覧(要約)》

区分	意見の概要	担当所属	反映状況	事業名
	昼間は空気ばかり運んでいるような路線バスへの予算（補助金）はもっと他に回していただけたらどうか。	交通政策課	市町村における地域の実情・ニーズを踏まえ、使い勝手が良く、持続可能な交通体系の構築を検討していきます。	地域バス交通等体系整備支援事業（継続）
	在住外国人だが、息子の進学や就職等で難しいことが多く、どこに相談に行けば良いのかわかりにくい。もう少し、わかるようにアドバイスしてもらえると嬉しい。	交流推進課	財団法人鳥取県国際交流財団の行う在住外国人の生活支援事業に対し継続して支援を行います。	鳥取県国際交流財団助成事業（継続）
	鳥取県は乳幼児健診の目的が、発育、発達をただチェックするという面がまだ多いので、子育て支援の一環としての乳児健診のあり方というのを県政としても考えていただきたい。	健康政策課	年2回開催する鳥取県母子保健対策協議会において、市町村の行う保健事業の評価・健診の精度管理等の検討を行います。	母子保健指導振興費（母子保健推進体制整備費）（継続）
		健康政策課	軽度発達障害の発見・支援並びに子育て支援を行うため、市町村が実施する5歳児健診の体制整備を継続して実施します。	母子保健指導振興費（母子保健諸費費）（継続）
拡充	日野郡は山がほとんどなのでこれを活性化しないと豊かな地域にならないと思う。日野郡全体は「たたら」で栄えたが、豊かな山の恵みが地域を豊かにしたという点にもう一度目を付けて山を見直していかなければいけないと思う。	林政課	木材生産コストの低減化などにより、林業活動を活発にする取り組みを進めています。 また、平成18年度からは企業による森林保全活動を呼び込む情報提供も進めています。	低コスト林業推進事業（当該事業は新規） 新・間伐材搬出推進事業（継続） とっとり共生の森育成支援（継続）
	「地域が育む河川環境保全事業」が実施されて3年くらいになるが、昔のきれいな川原の姿にだんだん戻りつつある。この事業を今後も継続して欲しい。	河川課	日野郡民会議での意見を契機に平成15年度から日野総合事務所管内に限定して始めた「地域が育む河川環境保全事業（交付金事業）」を平成17年度より全県に拡大しています。 平成19年度も引き続き全県を対象として実施していきます。	地域が育む河川環境保全事業（継続）
	社会性を身につけるような子供の時期に、他人の思いやりと、優しい心を引き出すようなことをして欲しい。子供が本当に目覚める時期に、知識のみじゃなくて、ボランティア活動ということにも関心を向けるような形をとっていただければどうか。	教育委員会 小中学校課	推進地域、推進校を指定し、他校のモデルとなる体験活動（ボランティアなど）を実施するとともに、その取組の成果等を各学校に普及する事業を平成18年度から2カ年事業として実施しています。	豊かな体験活動推進事業（継続）

区分	意見の概要	担当所属	反映状況	事業名
	登下校の中でパトロールの車でも見れば子どもも安心するだろうし、またある程度の抑止力にもなるのではないかと。	警察本部	登下校時間帯を中心としたパトロール、学校への立ち寄り活動を引き続き強化していくほか、各地の防犯ボランティア団体等と連携して、子どもの安全対策を継続して推進します。	防犯ボランティア支援事業 (継続) 生活安全活動運営費 (継続) スクールサポーター設置運営費 (継続)
新規	日野郡には奥日野県立自然公園、あるいは国立公園といったものがある。県土整備局や県民局など複数の部局があってわかりにくくなっている。整備管理も含めて、県の所管する一つの自然公園としての管理・運営がなされればいいと思っている。	日野総合事務所	日野郡の自然公園を一体的に振興するための組織を設置します。 (県民課内に「自然活用係」を) 新設します。	日野地域自然公園等振興活動推進費 (新規)
拡充	滝山公園の修繕等について県町に要望を検討してもらっているが、地元の間もどうかかわっていくか考えていく必要があると思う。ボランティア活動でながしやかやっていく方法があるのか。あるいは材料だけでも出していただいて私たちがボランティアでどうにかすることができるのかどうか。	日野総合事務所 治山砂防課	平成18年度に創設した、自然公園の維持管理等を行う地域のボランティア活動に対する補助金を継続します。  滝山公園の老朽化した木橋については、災害の未然防止のため県が撤去します。	自然公園ボランティア団体補助事業 (継続)  砂防施設修繕事業 (当該事業は新規)

※上記は、日野総合事務所の責任において要約している部分もあります。県全体の平成19年度当初予算の概要については鳥取県のホームページをご覧ください。(http://www.pref.tottori.jp/)

郡民会議での出た意見や県の処理方針は、日野総合事務所のホームページ (http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=1700) にも掲載しております。

**県の現状経過説明や処理方針に対するご意見があれば担当までお聞かせください!**

担当 県民局県民課 三木 電話 0859-72-2084

## ◆第3期委員第3回郡民会議(平成18年12月2日開催)での意見について(要約)◆

### 1 いじめのメッセージは地域に対してもすべき

会議意見	現状・経過	処理方針等
いじめについては、地域にも声をかけていくことも大事だと思う。学校が少なくなった地域の住民や子供が身近でなくなったお年寄りにも、県の方も紙一枚でなく、強くお願いをされる必要があると思う。	県教育委員会のメッセージは、記者発表、県教育委員会のホームページ掲載、県立学校や小・中学校の生徒、保護者に配布しました。 その後、保護者や教職員に配布している「夢ひろば」や新聞に掲載するなど、多くの県民の皆様に伝わるよう発信したところです。	いじめ問題でも、地域の方々と学校との連携は大切であると考えております。 連携方法や協力依頼方法などは、小中学校の設置管理者である市町村教育委員会や学校が地域の実態に応じて検討する方が適切と考えますので、今後、機会があれば市町村教育委員会と話をしてみたいです。

### 2 スクールカウンセラーはもっと目配りをして欲しい

会議意見	現状・経過	処理方針等
スクールカウンセラーは、相談が来るのを待っているのでは、いじめは見つけにくいと思う。 教室を覗く等の目配り気配りをしていただきたい。 保護者や先生の悩み等も聞いてあげないと、解決につながっていかないと。	現在配置のスクールカウンセラーには、限られた時間のなかで ①教職員に対する助言・援助 ②児童生徒・保護者へのカウンセリング ③教職員の教育相談の指導力の向上に関する研修等 をお願いしているところです。	スクールカウンセラーには、学校の実情に応じた動きをお願いしており、その活動内容については、学校と十分話し合いをしているところです。 限られた時間の中でさらに効果的に活動できるように、連絡協議会や研修会等を通じて働きかけていきたいと思っております。

「こげなええとこ行かん手はない・歩かん手はない」

# 『日野郡観光ガイドブック』 『日野郡ウォーキングマップ』

## 作成しました

このたび県民局では、日野郡の観光地をまとめて紹介した『日野郡観光ガイドブック』と、豊かな自然や歴史散策を楽しんでいただけるよう『日野郡のウォーキングマップ』を作成しました。

これらの冊子は、郡民の皆さまに活用していただくばかりでなく、魅力あふれるこの地域「日野郡」を、県内外の人々へ伝えていただくためにもお役立てください。

『日野郡観光ガイドブック』は、

日野郡内にあふれる魅力を「四季」、「歴史・文化」、「レジャー」、「味覚」をテーマにして紹介しています。

いろいろな日野郡の楽しみ方を知っていただきたいと思います。

『日野郡のウォーキングマップ』

は、歩きながら日野郡の豊かな自然を満喫できるおすすめのコースとして、「出雲街道コース」「奥大山コース」「鏡ヶ成コース」「花見山コース」「滝めぐりコース」の5コースをとりあげ、幅広い年齢層の方を対象に、日帰りで軽く汗をかいていただける程度のコースに設定いたしました。



※日野総合事務所県民局のほか、日野郡各町役場、郡内観光施設などで4月以降入手可能です。

### 問い合わせ先

県民局 県民課  
観光ガイドブック  
電話 0859-72-20086  
担当 足立 啓作

ウォーキングマップ  
電話 0859-72-20085  
担当 土井 一寛

「出雲街道」が  
NHKクイズ番組に登場！

「クイズとことん旧街道」

(NHK総合・中国地方)

平成19年4月13日(金)19時30分  
辰巳琢郎、西村知美、アメリカガザリガニをゲストに吉田村く根雨く津山く堺の旧街道を紹介する。

### 日野総合事務所の

「庁舎内全面禁煙」について

平成19年4月1日から、日野総合事務所庁舎内は全面禁煙となります。庁舎内では、これまで2箇所の喫煙所を設置して分煙を実施してきましたが、受動喫煙防止の観点から、全面禁煙とすることにしました。皆さまの御協力をよろしくお願ひします。

なお、喫煙場所は庁舎外に設置予定ですので、御来庁時、喫煙される場合は御遠慮なくお問い合わせください。



### 問い合わせ先

県民局 企画総務課  
電話 0859-72-0321  
担当 青砥 聡

相談窓口

お困りごとがあれば、一人で悩まず、お早めに、税務関係部署、日野総合事務所県民課、消費生活センター、警察署、町役場にお気軽にご相談ください。

日野総合事務所県民課 電話 085917212083  
 鳥取県生活環境部消費生活センター  
 西部消費生活相談室米子市末広町294  
 電話 0859134126482668



アドバイス

税務関係職員を装い、還付金の受け取りなどの名目で、現金自動預払機(ATM)を操作させ、振込みを行わせる「振り込み詐欺」の被害が全国的に報告されています。

税務関係部署は次のとおり呼びかけています。

- ① 還付金受取のために金融機関等の現金自動預払機(ATM)の操作を求めることはありません。
- ② 国税の納税のために金融機関の口座を指定して振込みを求めめることはありません。
- ③ フリーダイヤルの電話を設置してありません。

不審な電話等があった場合には、**相手方の指示をうのみにしない**で、税務関係部署や消費生活センターなどへ相談し、被害に遭うことがないように十分注意しましょう。

なお、県税事務所も同様の注意を促しています。  
<http://www.pref.tottori.jp/od.aspx?menuid=32953>



相談事例

税務関係職員を名乗る男性から、次のとおり電話があった。「税金の還付が受けられる。窓口での還付手続期限は過ぎているが、今日の午後三時までには手続を終えれば、通帳に還付金を振り込む。個人のことなので、家族や知人に相談してはいけない。キャッシュカードを持って、最寄の現金自動預払機(ATM)まで行き、到着したらフリーダイヤルに電話して、指示に従って操作すること。」その足で急いで銀行に向かおうと思ったが、(会話の途中で「国税事務所」が「県税事務所」になるなど、不審な点があった。)もしかすると、新卒の詐欺ではないか…。



にせの税務関係職員にぞ注意!

## 黒坂警察署からのお知らせ

### ○中型自動車・中型免許の新設 —平成19年6月2日施行—

これまで普通免許で運転できた貨物自動車の死亡事故件数が著しく増えています。これらの事故防止を図るため、平成16年に道路交通法の一部が改正され、中型免許制度が設けられました。これは、自動車の種類として今までの普通自動車と大型自動車の区分の間に、中型自動車を新設し、これに対応する免許の種類として中型免許を新設したものです。

#### ■現行制度

	普通自動車	大型自動車
受験資格	18歳以上	20歳以上、経験2年以上
車両総重量	8トン未満	8トン以上
最大積載	5トン未満	5トン以上
量乗車定員	10人以下	11人以上

#### ■新制度

#### ▼新設

	普通自動車	中型自動車	大型自動車
受験資格	18歳以上	20歳以上、経験2年以上	21歳以上、経験3年以上
車両総重量	5トン未満	5トン以上11トン未満	11トン以上
最大積載	3トン未満	3トン以上6.5トン未満	6.5トン以上
量乗車定員	10人以下	11人以上29人以下	30人以上

#### 普通免許をお持ちの方

新しい免許制度になっても、運転できる車の大きさの範囲は同じです。運転免許証の変更等の手続きも必要ありません。普通第二種免許の方も同様です。普通免許を持っている方は、運転できる中型自動車が現行の普通自動車に相当するものに限定されている中型免許(8トン限定中型免許)を受けているものとみなされます。つまり、中型免許を取り直さなくても、8トン未満の中型自動車であれば、今までどおり運転できます。

#### 大型免許をお持ちの方

新しい免許制度になっても、運転できる車の大きさの範囲は同じです。運転免許証の変更等の手続きも必要ありません。大型第二種免許の方も同様です。ただし、21歳未満の方、免許経験が3年に達しない方は、新制度における大型自動車を運転することはできません。

詳しいお問い合わせは、黒坂警察署交通課まで 黒坂警察署 (0859) 74-0110

# 日野郡に必要な「江府道路」について

県土整備局長 播磨 振作

江府道路は、延長約4kmの地域高規格道路江府三次線の一部となる道路です。

地域高規格道路江府三次線は、米子自動車道の江府インターから南西方向に、中国自動車道の三次インターまでの高速道路と高速道路の間を、走行速度60km/hで結ぶ延長約90kmの鳥取県西部地区の発展にかかせない大動脈となる道路です。この道路は、単に通過するのみの国道バイパスではなく、大きな集落(例えば生山道路の霞地区)では乗り降りができるようにし、地域の皆さんも利用してもらええる道路として整備をするものです。これから少子高齢化の時代をむかえるに当たり、この道路としてのネットワークづくりに参加しておくことは、日野郡が生き残るために、是非とも必要なことと考えています。

江府三次線の事業の進み具合は、平成17年に日野町福長から日南町霞間4.6kmがすでに完成し、鳥取県内で事業化されている区間は、江府道路の約4km、と鍵掛峠道路の12km(うち鳥取県側4km)となっています。広島県側では、庄原市高町の高(たか)道路約3kmで合計約24km(全延



長の約26%)が完成又は事業化されており一日も早い完成が期待されています。

江府道路は、平成17年度に事業化され、江府町佐川から武庫間の日野川とJR伯備線に挟まれた国道181号の交通問題(踏切に近接した交差点の安全性向上、異常気象時における代替道路の確保、道路の線形不良等)の解決を目的に、バイパス計画としてスタートしています。現在、事業計画について関係集落に説明をさせてもらっているところですが、この計画の実現のためには、是非とも関係する地域の皆さんのご理解とご協力が必要です。今後とも地域の皆さんのご意見を聞きながら事業を進めたいと考えておりますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

地域の皆さんのご理解とご協力が必要です。今後とも地域の皆さんのご意見を聞きながら事業を進めたいと考えておりますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 『日野総合事務所だより』について

平成13年9月に創刊しました本誌も今回で30号の大きな節目を迎えました。皆様方の生活に直接関わる記事の多い町報と違い、県の施策紹介をはじめ郡内での共通的な記事を提供してまいりました。歴史、文化、産業、教育、警察や人の紹介まで幅広くお読みいただけるよう工夫を重ね、郡民の皆様と日野総合事務所を結ぶ大切なお知らせ手段となってきたと考えております。

しかしながら、平成19年度予算編成の検討過程で、県全体の広報には全戸配布の「県政だより」があることや鳥取県公式ホームページ「とりネット」が普及してきたことなどから、総合事務所独自に発行している広報誌は、あと数号をもって廃刊されることとなりました。

今後の郡内での県広報のあり方・要望などにつきまして、郡民の皆様からの幅広い御意見をいただきたいと考えています。これまでの本誌への感想や県政だよりについての御意見などもお受けいたします。日野総合事務所県民課、又は、県庁の「県民の声」担当へお知らせいただきますようお願いいたします。

日野総合事務所県民局県民課  
電話 0859-172-2083  
県庁県民室県民の声担当  
電話 0857-126-17025



古紙配合率100%再生紙を使用しています



このカタログの印刷は、環境にやさしい植物性大豆インクを使用しています

編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1  
TEL 0859-72-0321 FAX 0859-72-2072  
E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=1700